

シャボン玉の魔術師ミケーレ・カファッジ

Omino

-雨降りの小人-

雨降りの夜に起こる
不思議なシャボン玉の話

外は雨、家の中も雨。
水びたしになったアパートで
なぜかどこからか出てくる
シャボン玉に心は浮かれ始める。
毎日使う台所のコップから、
居間にあるテーブルから、
いつもの傘立てから、
なぜかシャボン玉が踊りだす。
そしていつのまにか、夢の
世界に引き込まれていく。
そこで男が見たものは？

ミケーレ・カファッジ

1973年イタリア生まれ。ミラノ在住。

1990年代初め、世界中にシャボン玉パフォーマンスが

まだほとんどいなかった頃に、独自に考案・開発し、

世界でただ一人、劇場向けの演劇表現としてシャボン玉を

アートに高めました。イタリア国内はもとより、アメリカ、カナダ、ドイツ、スペイン、ギリシャ、

ベルギー、ルーマニア、アイルランド、イスラエル、インド、エジプト、中国、韓国と、

数々の国際演劇フェスティバルに招待参加しています。



シャボン玉の魔術師ミケーレ・カファッジ

Ouverture des Saponettes

シャボン玉のコンサートの始まりは始まり

不思議いっぱい
シャボン玉を奏でるコンサート
オーケストラ不在の指揮者
楽器を持たない演奏家
声をなくしたオペラ歌手
もろくてこわれやすい
ふわふわと軽くて
音ひとつない 静まり返った
ちよっと変わったコンサート
まるでシャボン玉のような・



ミケーレ・カファッジ「シャボン玉の魔術師」は、2024年7月西区民文化センター、
2025年9月安佐南区民文化センターで、子どもコミュニティネットひろしまとの共催
で上演され、好評を博しました。「Omino」の上演は広島で初となります。

広島公演の1分半動画をチェック→



Art.31の団体名は、子どもの文化権を謳う子どもの権利条約Article31（第31条）の短縮形です。1989年
の国連総会で採択され、1991年にわが国も批准している子どもの権利条約第31条「休息・余暇、遊び・
レクリエーション、文化的生活・芸術への自由な参加」の権利を、Art（芸術・文化）の力で実現しよう
と、10年前に長野県原村を拠点に設立され、出版や舞台公演の制作などを手掛けてきました。
広島でも31条の実現をめざして、2026年2月から、2か月に1回程度、広島で子どもと文化の
ムーブメントをつくる“出会いと学びの交流会”「Art.31広島ワニブタミーティング」を企画しています。
Tel 090-9735-0263（担当：毛利）



ワニブタカレンダー
詳しくはこちらへ

